

♪♪♪ 宗次ホールおすすめ公演情報 2016年12月 ♪♪♪

チケットのご予約は 宗次ホール チケットセンターへ 052-265-1718(営業時間10:00-18:00)

今年もあと1か月！皆様の1年間はいかがでしたか？12月25日まで、コンサートチケット購入にご利用頂ける「ギフト券」を10,000円分買うと3枚おまけのプレゼント招待券がついてくるお得なキャンペーンを開催していますので、この機会にどうぞご利用ください。そして2016年を、ぜひ思い出に残る素敵な演奏で締めくくってください♪

(文責:宗次ホール企画担当 廣田 政子)

ロン＝ティボー、ハノーファー両国際コンクール2位の
最も注目される若手実力派ヴァイオリニストと
今年フランス・リスト国際ピアノ・コンクールで優勝した
話題のピアニストによる豪華共演！

南 紫音 ヴァイオリン 阪田 知樹 ピアノ

12月10日(土)18:00開演 3,500円(学生2,100円) [指定]



1989年生まれの美しいヴァイオリニスト、南紫音さんは難関国際コンクールでも受賞歴のある、今最も注目されるヴァイオリニスト。紫音(しおん)さんという素敵なお名前は、ピアノをされていたお母様が音という響きの字を入れ、音楽を楽しんで欲しいという願いからつけられたそう。ヴァイオリンとピアノを習っていたお兄さんを見て“私もヴァイオリンを弾きたい”と言いだした小さな紫音さんの言葉を聞いてから、お母様は全てをサポート、「一番の理解者であり、一緒に頑張ってきた、ただ一人の理解者」と紫音さんが表現される程、全てをかけて応援してくれたそうです。3歳から師事した最初の先生はN響コンマスの篠崎史紀さんのお父様。“ここは盛り上げたいので一歩前に出て！”とか“弓はこういう風にカッコよく振り上げて！”といったように、身体を使った音楽表現とその楽しさを深く教わったそうです。

今はお母様とも離れて一人でドイツのハノーファーに住み、日々研鑽を積む紫音さん。コンクールで収めた輝かしい成績については、「本当に自分ができる事は全てしました。ヴァイオリンがイヤダ！と思う位に毎日練習しました。その努力が結果にでた事が嬉しい。」と笑顔でお話なさいます。

ドイツでの生活は日本と異なることばかり。学校でのオーケストラの授業もアプローチ法が全く違い、指揮者に言われたことを忠実に考えて演奏する日本のやり方に対して、指揮者が喋っている間も質問攻めだというドイツの生徒達。皆それぞれ異なる考えの方向性を揃えていくのがリハーサルの主な作業だそう。そのおかげで“仕上がった音楽に凄く勢いがある、スケールの大きなものになる”と紫音さん。新たなアプローチ法を学べることもとて幸運だと仰います。

そして同じくハノーファーに留学中のピアニスト、阪田さんは名古屋市生まれの22歳。今年9月に歴史あるフランス・リスト国

際ピアノ・コンクールで優勝し、大きなニュースになりました。5年に一度開催されるこのコンクール、日本人の男性ピアニストが優勝したのは初の快挙！2013年に最年少(19歳)でヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールに入賞した時も大変な注目を集めた阪田さんは、5歳からピアノを習い始め、6歳の時にはいきなり夜中に飛び起きて「五線譜をくれ」と言って楽譜を書き出したという逸話も！クラシック音楽を題材とした、9月に公開された映画『四月は君の嘘』(広瀬すずさん主演)のアニメ版においては、主人公有馬公生のモデルアーティストに阪田さんが選ばれていて、アニメ中のピアノ演奏も全て担当されています！現在アリエ・ヴァルディヤパウル・バドゥラ＝スコダの下で研鑽を積む若きピアニストは、「今一番の課題は、ドイツ語。ヴァルディ先生は大変博識で、いろんな話をしてくれますが、テクニックに関したことはあまりおしゃいしません。コンサートのプログラムの構成において自分の個性をいかに伝えられるかを考慮した選曲をするようにとか、音楽家としての見せ方について、多くアドバイスをして頂いています」と話されます。今後益々の活躍が期待される2人の共演、お聴き逃しなく！

“鳥肌を立てずには居られない！”

BBCミュージック・マガジン誌

“大胆な熱情と最高の技術、息をするのも忘れる程”

パヴェル・ハース弦楽四重奏団

12月11日(日)14:00開演 4,500円(学生2,700円) [指定]



「彼らのサウンドはすぐ
にパヴェル・ハースのそれ
とわかる…このような素晴
らしい録音に出会った時、
批評家とは世界一幸せな職
業だと噛みしめざるを得な
い！」(グラモフォン誌)世
界中の新聞・音楽誌で大絶

賛されるパヴェル・ハース弦楽四重奏団(チェコ)。初リリースのCDで早々にグラモフォン室内楽賞やBBCミュージック・アワードを受賞という鮮烈なデビュー・アルバムを皮切りにグラモフォン・アワードを通算3度も受賞！「彼らの録音がもしレコードだったら、もうとっくに擦り切れているであろう程聴いた」(タイムズ紙)と激賞されています。

第1ヴァイオリンのベロニカさんは夫のペテルさんがチェロを弾くシュカンパ四重奏団の演奏会を聴いた時、“弦楽四重奏と恋に落ちた”そう。そしてスメタナ四重奏団で名高いミラン・シュカンパの元へ相談に行き、この為にシュカンパ四重奏団を退団したペテルさんらと共に活動することを決めたのです。シュカンパ氏は最初のレッスンのときに『この世で最も美しい牢獄にようこそ』と言ったとか！それからはカルテットのことばや人生について、たくさんのお話を教え、導いてくれたと仰います。

チェコは弦楽器奏者の逸材が多いことで有名ですが「だからといって、自分達はスメタナや他のチェコ人作曲家の作品を深く理解できると胡坐をかいてはいけません。作曲家が楽譜に記した全ての詳細に注意を払って分析しなければ」とペテルさん。「私たちはいつも互いに人生のあらゆることを学んでいる。リハーサルをすれば友人の感じていることがわかるし、困っているときには助けにもなれる。そうしていつも互いに学び続けている」と仰います。作品の“解釈”とはどういう意味合いだと思いますか？という質問に対しては、「私達にとって“解釈”とは、作曲家のメッセージをどう“理解”しているか、ということ。そして作曲家自身の意

志を表現することが何よりも大切であり、演奏家個人の感情はあくまでも作曲家の意思の支えであるべき」と仰います。

ちなみにもし音楽の道を選んでいなければペロニカさんはファッション・デザイナーに、チェロのペテルさんはアーセナル・フットボールクラブの選手になりたかったそう！

「もし誰かにクラシック音楽の魅力について尋ねられたら、パヴェル・ハースを教えてやれ。なぜ我々はわざわざ生演奏を聴きに出掛けるのか…その理由を再確認させてくれる」(クリーブランド・ブレン・ディーラー紙) 各紙をここまで唸らせる演奏を、是非生で体感してください！

お得なスイーツタイムコンサート！

13:30開演 2,000円 自由席 ※終演15:00予定

プレゼントチケット(ギフト券セット購入のおまけ等)2枚で入場可能

★チャリティーシート(指定席)AB列中央付近23席限定

スイーツタイムコンサートは、これからクラシック音楽をじっくり聴いてみたいなあという方、夜は出かけづらいので昼間に本格的な演奏を楽しみたいなあという方にぴったり。国際的にも活躍するベテラン演奏家から気鋭の若手までが登場。みな2,000円ではお得すぎるほどの素晴らしい演奏家たちです。ご期待下さい！

ロンドンの聴衆を魅了した歌姫とギターデュオ！

“忘れがたい程の美しい歌声、楽々として自然…”

バックトラック オンライン音楽誌

12月6日(火) ギターと歌うスペインと日本の歌

谷本 綾香 ヴォーソプラノ

ホセ・マリア・ガジャルド ギター



1987年三重県伊賀市生まれの谷本さん、三重県海外留学奨学金を受け英国王立音楽大学学士課程を、その後同校大学院を修了します。実はクラシックを始めたのは18歳、留学をするわずか1年前！音楽は小さい頃から好きだったそうですが、高校時代はソウルバンドを組んでライブハウスで歌ったり、おじさんバンドのヴォーカルを担当されていたそう！

基礎もやっておいた方が良く感じ17歳でクラシック音楽の声楽の基礎を習い始め、偶然知った王立音楽大学の日本オーディションを受けると、ぜひ来て下さいとのオファーが入ったのでした！現在はオペラやソロ、室内楽で活躍する谷本さんですが、大学ではオペラの役を獲得するためにはタフでなければならない、10回オーディションを受けて1回受ければラッキー。“エルボーゲン”(=エルボー、肘)といって、肘で周りを押しつけて前に出て行け！と教えられたそうですが、「それは私のやり方じゃないな」と話す、優しい雰囲気の彼女。「もちろん役に対して万全の準備はしますし、精一杯努力は惜しみませんが、その時が来れば、やるべき役はくるでしょう。プレッシャーを楽しみながら、マイペースでやっていきます」と話す姿には余裕すら感じられ、彼女の演奏にもその自然体な個性が滲み出ているようです。

今回は、僅か14歳の頃からスペイン中で演奏旅行を行い、演奏だけで生計を立てていけるほどだったというギタリスト、ガジャルドさんとの共演。ご両親が陶芸家である谷本さんは、お父様の谷本洋氏の仕事の関係で、幼い頃から毎年夏休みにはスペイン

で過ごされていたのです！「そのせいかスペインの音楽がすごく好きなのです」と谷本さん。一方ガジャルドさんも最初に師事した先生が来日コンサートを行ったことがあった関係で、日本の良さを幼い頃から度々聞かされていたそう！

作曲家・指揮者としても活躍するガジャルドさん、「ルネサンスやバロック時代の音楽家のように何でもできるのが理想。音楽を奏でるギタリストであるよりも、ギターを弾く音楽家でありたい」と話します。そんな彼の作品“さくら変奏曲”を含む今回のプログラムですが、このタイトル、実は新しくリリースされる2人の初デュオCDのタイトルでもあるのです！

ギターと歌。そういえばこういう編成の演奏会、宗次ホールでわりと珍しい気がします。小さなホールだからこそ聴き入ることが出来る親密なデュオのコンサートをお楽しみください。

「恐るべき才能！！」 ワシントン・ポスト紙

漆原 朝子 ヴァイオリン

ブリリアントなテクニック 欧米で絶賛される実力派

今峰 由香 ピアノ

12月22日(木) デュオ・コンサート



国際的に活躍する音楽家二人の初共演がスイーツタイムに登場！現在東京藝術大学准教授である漆原さんは海外でも「1920年代の巨匠を思わせる演奏」(NYタイムズ紙)と絶賛される

本格派。今回は漆原さんがCDリリースもされているブラームス:ヴァイオリンソナタ第3番やシューマン:3つのロマンスを含むプログラムです。

ピアノの今峰さんは日本の一般大学で西洋史を学んだ後に渡独。ドイツ語の語感を理解できるようになったことによって、晩年のベートーヴェンがドイツ語で楽譜に書き込んだ言葉のニュアンスまで感じる事が出来るようになり、それまではその力強さに苦手意識のあったベートーヴェンの音楽の、内に秘められた優美なやさしさ、人間愛、信仰やユーモラスさを感じることができるようになり、“ベートーヴェン観”が変わったと仰います。そしてやはり「演奏家の宿命は、作曲家のメッセージを伝える仲介者であること。そのメッセージは楽譜に書いてある。」と続けます。それは前のパヴェル・ハース弦楽四重奏団とも共通する考え方。二人の貴重な初共演、お得なスイーツタイムでどうぞ。

お得なキャンペーン

12/25 まで

ギフト券1000円×10枚のお買い上げで1000円相当のおまけが3枚つく
お得なキャンペーン中！2セット(2万円分)お買い上げのおまけで

スイーツタイム3回無料で聴き頂けます♪😊

チケットのご予約・お問い合わせは
宗次ホールチケットセンターへ

☎ 052-265-1718